

## 診療所だより

毎日多くの事故が発生していますが、色々な事に気を付けると事故は少なくなります。今回は3つのチェック項目を上げてみました。もう一度チェックをして事故を少なくし大切な家畜を守りましょう。 延岡家畜診療所 獣医師 奈須 祥泰

### 母牛のチェック項目

給与飼料は適正か  
 ビタミン・ミネラル類・添加剤を応用しているか  
 定期的に内部寄生虫を駆虫しているか  
 永久棒磁石を全頭投与したか  
 削蹄は年1回以上しているか  
 一般疾病の発生頻度が高くないか  
 母牛の泌乳能力は低くないか  
 子牛の成長率が低い母牛はいないか  
 ワクチンを投与しているか  
 出生子牛の下痢予防ワクチンを投与しているか  
 難産の経験があるか  
 流産の経験があるか  
 種雄牛選抜を考慮しているか  
 産科疾病罹患時に十分な処置を受けたか  
 繁殖成績記録簿を作成し記帳しているか  
 発情発見のための時間を設定しているか  
 分娩間隔（空胎日数）が長くないか  
 早期妊娠鑑定を受けているか

(肥り過ぎ・痩せ過ぎに注意)  
 (ビタミンA・D・E・βカロチン・B群等)  
 (肝蛭・糸虫・線虫)  
 (創傷性疾患の予防)  
 (運動器疾患の予防)  
 (母牛別と産次数別の頻度)  
 (子牛育成能力に影響する)  
 (出生時子牛体重・成長率・疾病罹患率)  
 (アカバネ・チュウザン病等の予防)  
 (初産母牛分娩前2回・2産目から1回)  
 (個体ごとの把握)  
 (個体ごとの把握)  
 (遺伝病等の除去)  
 (繁殖障害に影響)  
 (繁殖障害除去・淘汰時の参考資料)  
 (飼養管理意欲の啓蒙)  
 (母牛別と産次数別に把握)  
 (繁殖障害除去)

### 子牛のチェック項目

初乳を出生直後に飲んだことを確認したか  
 出生子牛に奇形はないか  
 出生後自力で歩行したか  
 出生後臍帯の消毒をしたか  
 初乳を十分に飲み続けたか  
 子牛は順調に哺乳しているか  
 子牛の体調は順調か  
 内部寄生虫の駆虫をしているか  
 肺炎や下痢による発育遅延はないか  
 離乳は確実に実施されているか  
 去勢と削蹄の時期は適正か  
 出荷子牛はワクチン接種を受けているか

(出生時間の経過と共に腸管での吸収力が減少するため早めに)  
 (伝染病疾患のチェック)  
 (出生後30分ぐらいで自力歩行する)  
 (臍帯は腹腔と繋がっているため細菌の感染を予防するため必ず)  
 (出生5日間は1日平均3.5~4.5リットル必要)  
 (子牛の臍帯と母牛の乳房の観察)  
 (母牛の乳房腫脹は哺乳の目安となる)  
 (肝蛭・糸虫・線虫)  
 (飼養管理意欲の啓蒙)

(IBR・BVD・PI・ヘモフィルス等)

### 環境のチェック項目

牛舎は清潔か  
 牛床は湿潤でないか  
 牛舎内が滑りやすくないか  
 敷料は十分か  
 牛舎内の通気性が悪くないか  
 刺激臭ガスの発生はないか  
 繋留飼養では牛に対して牛舎が狭くないか  
 採光・日光浴が母子ともにできているか  
 子牛専用の部屋や場所を確保しているか  
 気温の日較差の大きい季節の環境改善をしているか  
 牛舎の暑熱対策はしているか  
 牛舎の寒冷対策はしているか  
 新鮮で清潔な飲料水が飲めるか  
 子牛が飲水可能な高さに飲料水が設置されているか  
 子牛のみが採食可能な飼槽を設置しているか  
 飼料（特に穀物）の整理整頓がされているか  
 放牧場は危険がないように整備されているか  
 有害昆虫・外部寄生虫を駆除しているか

(飼養管理意欲の啓蒙)  
 (敷料の交換)  
 (牛舎の傾斜角度や床の湿潤度合)  
 (敷料の確保)  
 (牛舎が乾燥しにくい)  
 (アンモニアガスの発生)  
 (長さ・幅・カンヌキや飼槽の高さ)  
 (新陳代謝活性化のため)  
 (清潔に保つ)  
 (肺炎・下痢に注意)  
 (牛舎構造・飼料給与時刻の検討)  
 (厳冬時の隙間風は子牛には厳禁)  
 (水質検査が必要な場合がある。雨量の少ない時期)  
 (飲水により水分調節するため)  
 (子牛の別飼)  
 (盗食の防止)  
 (岩石・竹木の根等の除去対策)  
 (放牧場・牛舎内)